



東京園芸ニュース (28年度-91号)

平成29年 2月 / 群馬県東京園芸情報センター

秋冬ねぎ本格出荷シーズンを迎える 大田市場で千葉県産秋冬ねぎの試食宣伝会が開催！

千葉県産秋冬ねぎ 6 J A 合同試食宣伝会

- 期間：1月31日(火)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：J A 全農ちば、(公社)千葉県園芸協会、千葉県
- 内容：千葉県産ねぎの展示と試食宣伝

■ 千葉県産ねぎの都中央入荷量1位に！

千葉県のねぎが出荷最盛期を迎えることから、秋冬ねぎ産地の6 J A (J A 長生、J A 山武郡市、J A 東葛ふたば、J A とうかつ中央、J A かつとり、J A ちばみどり) が合同で試食宣伝会を開催しました。当日は、ねぎのスープ(しいたけ風味)とねぎのナムル3種盛り(オイスター味、コチジャン和え、韓国のり&ごま油)が試食提供され、多くの買参人で長蛇の列ができていました。

今年は8月の台風、9月の長雨でねぎの作柄はあまり良くありませんでしたが、11~12月は天候が良かったため生育は回復傾向で、肥大も平年並みになってきたそうです。また、千葉県でも黒腐菌核病がやや発生し始めており、産地には土壌消毒等の対策を周知しているとのこと。

都中央における平成28年のねぎ入荷量は、千葉県が茨城県を抜いて1位になりました(群馬県は6位)。千葉県の入荷量伸長率(H28/H23)は、103%とやや増加傾向で推移しています。

■ 「ちばの初夏ねぎ」をPR！

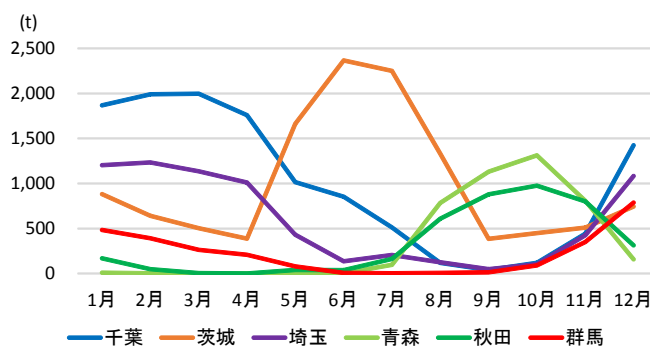
千葉県のねぎは秋冬作がメインですが、昨年より夏ねぎのブランド化を進めており、「プレミアム夏ねぎ」の紹介も行われました。こちらは、J A 長生、J A 山武郡市、J A ちばみどりの3 J A が連携した取組で、高品質な初夏ねぎの生産を開始しています。「プレミアム夏ねぎ」は、軟白部と葉の境目がくっきりしており、柔らかくみずみずしいのが特徴で、生産者全員がトンネルをかけて丁寧に栽培しています。出荷予定期間は、4月下旬~5月31日(期間限定)で、今年は昨年より生産者も増え、180万本を出荷する計画だそうです。



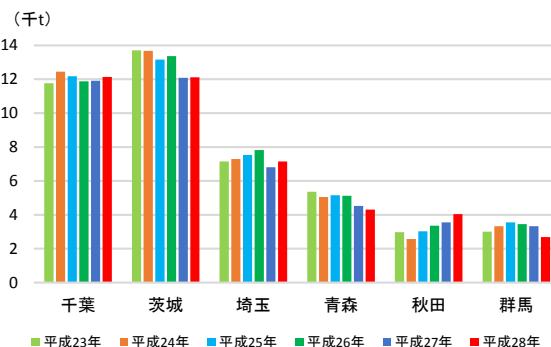
ねぎ展示の様子



試食提供：ねぎスープ(左)とねぎナムル(右)



H28年：都中央の産地別・月別ねぎ入荷量の推移



ねぎ入荷量上位6産地の推移 (H23~H28)